



坂東地域アグリ通信

平成30年9月20日

坂東地域農業改良普及センター 発行

Tel : 0297-34-2134 Fax : 0297-34-3291

(株)フェルミエ・オネットが「アグリフードEXPO東京」に3年連続で出展

8月22日(水)・23日(木)の2日間、境町の農家5名が起業したフェルミエ・オネットが、東京ビッグサイトで開催された販路拡大農産物展示商談会「アグリフードEXPO東京2018」に出展しました。

今年の商談会は全国各地から農業者、食品製造業者、6次化支援技術を提供する事業者等678団体が出展し、食品バイヤーを中心に12,385名もの来場者が訪れました。

その中でフェルミエ・オネットは、「玄米のライスミルクジェラート」の販売提案を行いました。このジェラートは、原材料に乳製品や卵、上白糖を使用せず、自ら育てた一等米の玄米や旬の野菜・果物を主原料にしているため、アレルギー特定原材料を含んでいません。



当日は、新製品の白いトウモロコシを含む7種類のフレーバーの試食提供を行ったほか、地域のデザイナーの方を中心に作成したリーフレットや営業提案書、フェルミエ・オネットが表紙を飾った地元情報誌の他、普及センターで作成協力したFCP展示会・商談会シートを活用して、来場者に対して商品特徴を説明しました。

その結果、アレルギーを気にする方や都内のレストラン、輸出、カタログギフト等の関係者から高い関心があることが伺えました。その中の数件とは商談を行っており、取引につながるよう支援を続けていきます。

平成30年タマネギ栽培講習会が開催

8月21日(火)、JA茨城むつみ本店でタマネギ栽培者全体会議及び栽培講習会が開催され、タマネギの生産者13名および関係機関が参加しました。JA茨城むつみではタマネギを昨年より導入しています。全体会議ではJA茨城むつみ玉葱研究会が発足し、産地化に向け決意を新たにしました。

栽培講習会では普及センターからはタマネギ栽培のポイントの説明し、土壌診断結果に基づき堆肥等を利用した土壌改良を行うよう指導し、堆肥生産者について情報提供を行いました。「みのもる産業株式会社」からは育苗のポイントとしてベンチ育苗や移植について、「全農いばらき」からは病害虫・雑草の防除や土づくりについて説明がありました。

参加者からは「単収を増やすためにはどうしたらいいの」等活発に質問があり、タマネギ栽培への意欲がうかがえました。

今後も生産者・関係機関一体となって、産地化に向けて取り組んでいきます。



水稲収穫後のイネ縞葉枯病対策について

イネ縞葉枯病の発生は引き続き高い傾向にあり、早急な対策が必要です。本病はヒメトビウンカによって媒介されるウイルス病で、収穫後のひこばえ（再生稲）がウイルスの伝染源となる可能性があります。感染したひこばえは葉身の淡緑色～黄白色の縞模様、葉先がこより状になって枯死（ゆうれい症状）し、穂が出すくむ等の病徴を示します。次年度、本田での発生を抑えるため、以下の対策に取り組みましょう。



1. 収穫後の早めの耕起

ヒメトビウンカがイネ縞葉枯病に感染したひこばえを吸汁することで、保毒虫となり翌年の病気の発生源になります。また、ひこばえはヒメトビウンカの幼虫の越冬場所となります。**遅くとも年内に**すき込みを行いましょう。



ひこばえに発生したイネ縞葉枯病（上）

ひこばえに発生したゆうれい症状（左）

2. 冬期の畦畔除草

9月下旬から10月にかけて産卵・ふ化したヒメトビウンカの幼虫は、ひこばえや畦畔のスズメノカタビラなどのイネ科雑草で越冬します。越冬場所の草刈りを行うことで、幼虫の数を減らしましょう。

土壌診断を活用しましょう

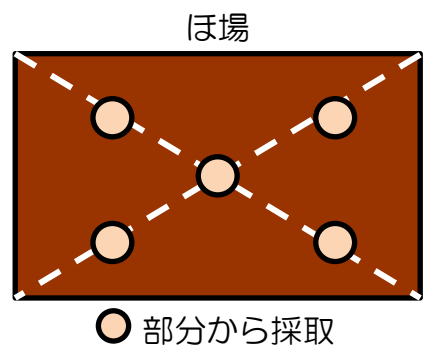


○土壌診断の必要性

定期的に土壌中の栄養分を知り、適切な施肥を行うことは、生育障害の防止やコスト削減等につながります。

○土の採取と測定項目

図のようにほ場の中心と対角線上の4か所から土を採取しましょう。採取した土は正確に測定するために、作物の残さや土の塊ができないよう乾燥させてふるいにかけてみましょう。乾燥した土を持ってきていただければ、普及センターのふるいを使用することもできます。



○ 部分から採取

土壌診断で測定する項目はpH, EC, 石灰, 苦土, カリ, リン酸です。

○診断結果について

結果は処方せんとしてお返しします。黒ボク土や沖積土等、土壌の種類によって各測定項目の基準値が異なるため、土壌改良の例も変わります。

○注意点

土壌診断は毎月10日頃と25日頃に実施し、結果は数日後にお返しします。

対象者は農業者または農業法人です。その他の場合には農業者から依頼を受けたものに限ります。

1回の土壌診断で測定できるサンプル数は限られています。より多くの方の土壌診断を行うため、1回の土壌診断で5点以内の持ち込みをお願いいたします。

10月 土壌診断実施日のお知らせ



土づくり推進のため土壌診断を受け付けています。個人等の農家の方が対象です。

10月11日（木）

10月25日（木）

を予定しております。

※実施日は変更になることがありますので、ご了承ください。前日までに、乾燥した土をふるってお持ちください。

編集後記

10月から私も公用車を運転できるようになるので、運転できるようになったら、どんどん農家さんのところに行きたいと思います。（荘司）

